

科 目 名		学年	
日本語表現 : Communication in Japanese		1PDK	
教 員 名 中井 賢一 : NAKAI Kenichi			
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
2	100分×15回	必修	講義・前期
授 業 概 要	<p>これまでの国語の授業を通して養った読解力・表現力を、生きて働く実践的なスキルとして定着させる。          議論、討論を通じてトランザクションの能力を高め、自身の論理を多角的観点から構築し、様々な表現形態を用いて伝えられるようにする。</p>		
到 達 目 標		評 価 方 法	配 分
多角的な視点から思考し、論理的に文章化できる。		課題、レポートによる。	70%
適切な表現を以て、討論、口頭発表ができる。		討議、プレゼンによる。	
課題に即した、小論文、企画書が作成できる。		定期試験による。	30%
学 習 ・ 教 育 目 標		G①	JABEE基準1(1) (f)
回	項 目	内 容	
第1	ガイダンス	授業の概要と、その取り組み方について理解する。トランザクションの概念について理解する。	
第2	論作文①	二種のワークシートを用い、多角的な観点から課題を捉える方法を理解する。	
第3	論作文②	課題「ライフポート」に取り組む。適切な討論の方法を理解する。	
第4	論作文③	課題「水」に取り組む。抽象テーマに対する思考方法について理解する。	
第5	論作文④	課題「異文化理解」に取り組む。適切な要約の方法を理解する。	
第6	論作文⑤	論作文のまとめとして課題「豊かな未来」に取り組む。課題文を要約した上で、問題点について討論を行う。	
第7	企画書作成①	課題「新商品の提案(1)」に取り組む。課題に基づいて、企画書を作成する方法を理解する。	
第8	プレゼンテーション①	適切なプレゼンテーションの方法について理解する。	
第9	企画書作成②	課題「新商品の提案(2)」に取り組む。目的に応じた企画書を作成する方法を理解する。	
第10	プレゼンテーション②	自作の企画の特徴と魅力について、プレゼンテーションを行う。質疑応答の方法について理解する。	
第11	プレゼンテーション③	"	
第12	企画書作成③	課題「日本文学アンソロジー」に取り組む。企画書を作成する方法に習熟する。	
第13	プレゼンテーション④	自作の企画の特徴と魅力について、プレゼンテーションを行う。質疑応答の方法について習熟する。	
第14	プレゼンテーション⑤	"	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。 授業評価アンケートを行う。	
自学自習の内容		レポートを課す。	
関連科目		国語IV	
教科書			
参考書			
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。	
副担当教員			
備考			